

高校生の進学意識に関するアンケート調査について（報告）

平成 29 年 9 月

経済産業部農業局農業ビジネス課

1 調査方法と分析方法

本アンケート調査は、農林大学校への進学者数が多い県内の16高校の3年生を対象とし、高校生の進学意向や求める教育内容、農林大学校への進学意向などを把握し、専門職大学の学部・学科、教育内容の検討を行う基礎資料とすることを目的としている。

アンケートの調査内容は表1-1の通りである。調査項目は、回答者の属性、希望する進路先や進路地域、進学先選択時の重視事項と学びたい教育内容、将来の職業意識、農林大学校への進学希望と学びたい教育内容、専門職大学の認知度の6項目である。

調査票は調査対象高校へ郵送にて送付し、高校生への調査票の配布・回収を依頼した。

回収状況は、表1-2の通りである。回収数は1,366部で、このうち1,356部を有効回答数とした。

表1-1 アンケート調査の内容

調査名称	高校生の進学意識に関するアンケート調査
調査項目	回答者の属性 在学している高校及び学科、居住地、性別、出身（農家、非農家等） 希望する進路先や進路地域 希望する進路先、希望する進路地域 進学先選択時の重視事項と学びたい教育内容 進学先を選ぶ際の重視点、学びたい学問分野、農業分野で学びたい内容 将来の職業意識 将来の職業希望、地元志向、職業としての農業のイメージ 農林大学校への進学希望と学びたい教育内容 農林大学校への進学希望とその課程、農林大学校で学びたい内容 専門職大学の認知度
調査方法	郵送調査 ・調査対象高校に調査用紙の配布・回収を依頼
調査対象	農林大学校への進学者が多い県内16高校の3年生 1,575名

表1-2 回答状況

配布部数	1,575部
回収数	1,366部（回答率86.7%）
有効回答数	1,356部（有効回答率99.3%）

2 回答者属性

(1) 学科

回答者の学科の比率は、農業系学科が 56.3%(763 名)、普通科・理数科 19.9%(270 名)、総合学科 14.3%(194 名)、商業科 9.1%(123 名)となった(図 2-1)。

(2) 性別

回答者の性別比は、男性が 46.4%(629 名)、女性が 53.0%(719 名)であり女性がやや多い結果となった(図 2-2)。また、学科別に見ると、農業系学科及び総合学科は女性比率が高いが、普通科・理数科及び商業科等は男性比率が高くなった(図 2-3)。

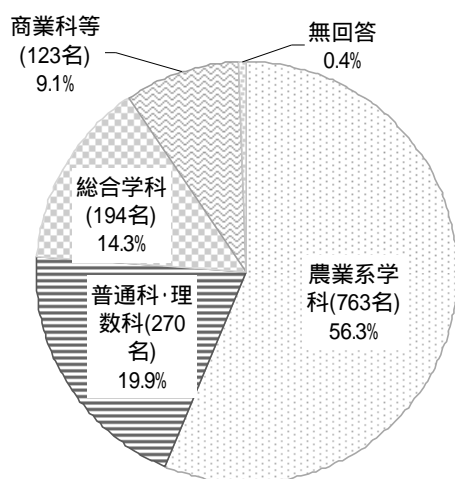


図2-1 回答者の学科 (n=1356)

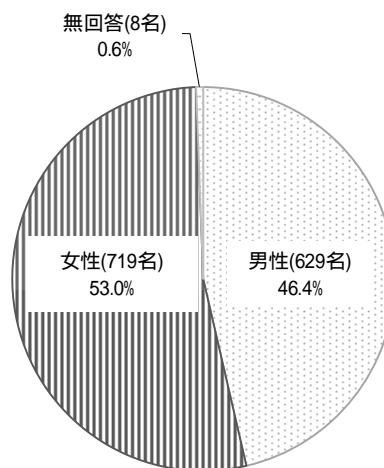


図2-2 回答者の性別 (n=1356)

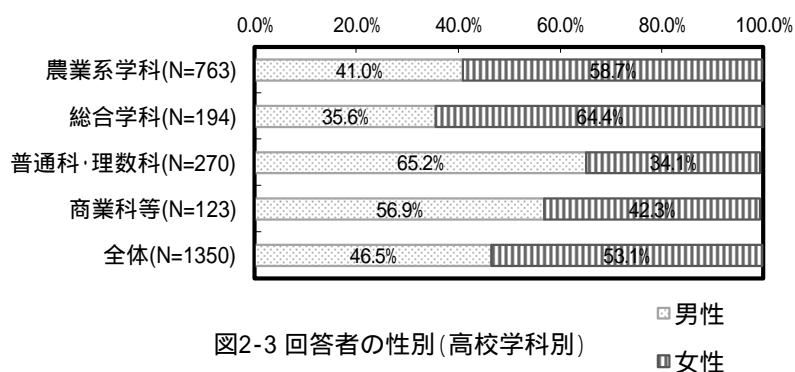


図2-3 回答者の性別 (高校学科別)

(3) 出身

回答者の出身は、「農家出身」が 3.5%(47 名)、「祖父母が農家」が 9.9%(134 名)、「非農家出身」が 84.5%(1,146 名)であり、非農家出身者が 8 割以上を占めている(図 2-4)。また、高校学科別に見ると、「農家出身」の比率は、農業系学科が 3.9%(29 名)、総合学科が 5.8%(11 名)、普通科・理数科が 2.3%(6 名)、商業科等が 0.8%(1 名)となり、農業系学科及び総合学科が他学科よりやや比率が高くなった。また、「祖父母が農家」の比率は、農業系学科が 9.3%(70 名)、総合学科が 13.2%(25 名)、普通科・理数科が 10.6%(28 名)、商業科等が 8.4%(10 名)。「非農家出身」の比率は、農業系学科が 86.8%(653 名)、総合学科が 81.1%(154 名)、普通科・理数科が 87.1%(229 名)、商業科等が 90.8%(108 名)となった(図 2-5)。

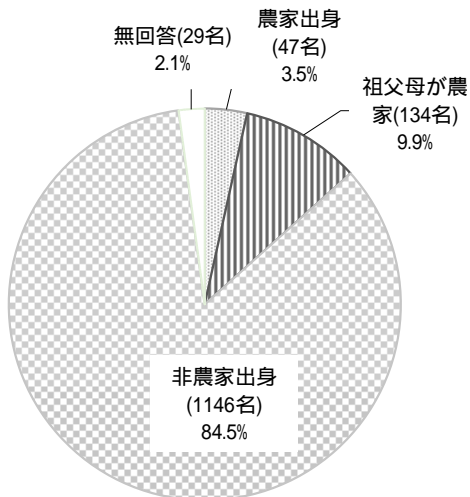


図2-4 回答者の出身(n=1356)

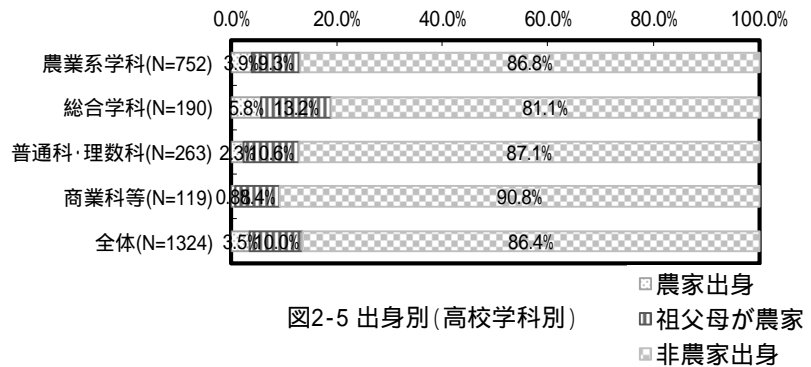


図2-5 出身別(高校学科別)

(4) 居住地

回答者の居住地は、静岡市が 32.9% (446名)と最も多く、浜松市 15.3% (208名)、磐田市 (141名)、袋井市 (56名)、掛川市 3.8% (51名)、藤枝市 3.1% (42名)、伊豆の国市 2.9% (40名)、三島市 2.7% (36名)、沼津市 2.6% (35名)、焼津市 2.6% (35名)、富士宮市 2.0% (27名)、富士市 1.7% (23名)、函南町 1.5% (21名)が続いた(図2-6)。

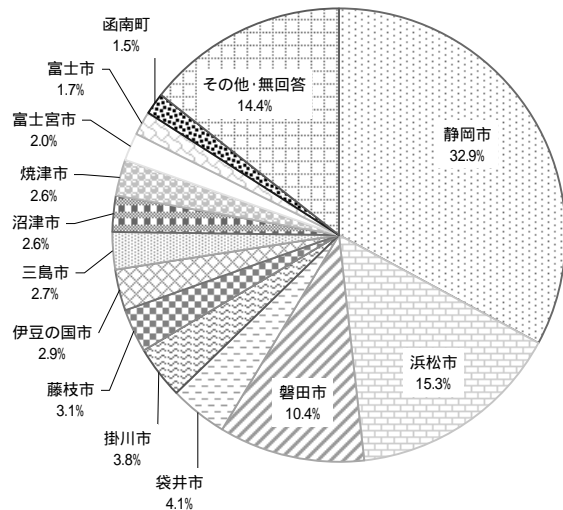


図2-6 回答者の居住地(n=1356)

3 希望する進路先及び進路地域

(1) 希望する進路先

希望する進路先は、「専門学校・専修学校」、「就職」、「4年制大学」、「短期大学」の順に多くなっている(図3-1)。

また、高校学科別にみると、農業系学科及び総合学科では「就職」が、普通科・理数科及び商業科等は「4年制大学」の希望が他の学科と比べて比率が高くなる傾向が見られた(図3-2~3-5)。

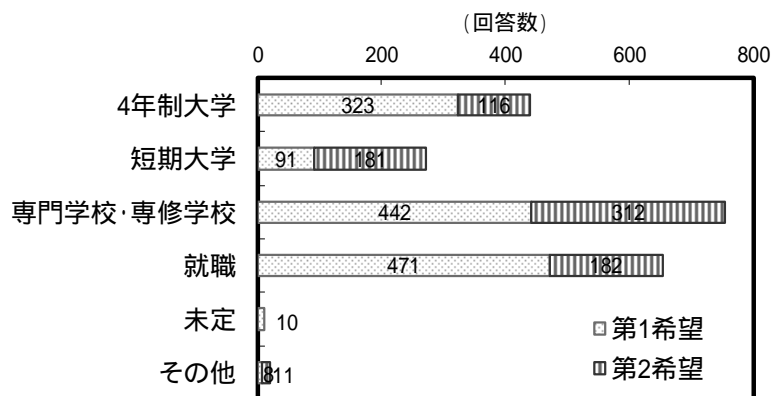


図3-1 希望する進路先(順位をつけて2つ選択、n=1345)

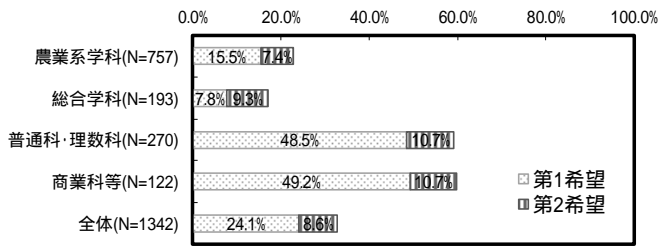


図3-2 4年制大学進学希望(高校学科別)

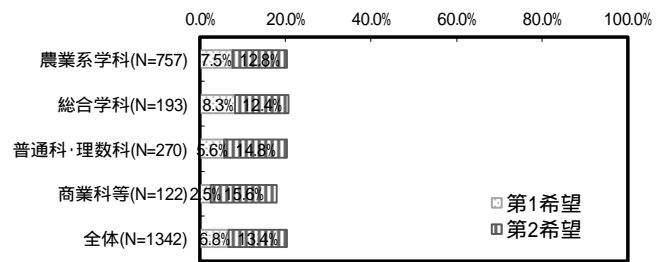


図3-3 短期大学進学希望(高校学科別)

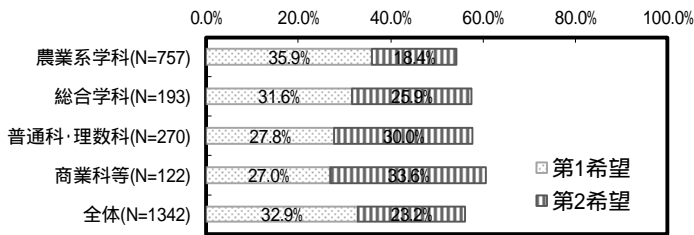


図3-4 専門学校・専修学校進学希望(高校学科別)

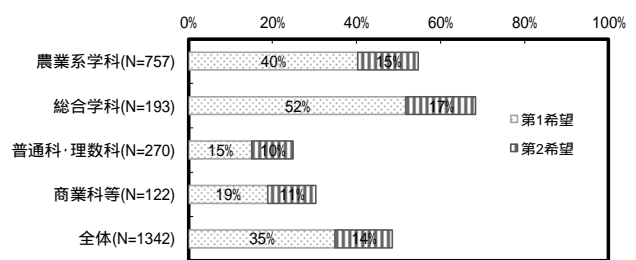


図3-5 就職希望(高校学科別)

(2) 希望する進路地域

希望する進路地域は、「静岡県内」が特に多く、「東海(静岡県除く)」、「南関東(首都圏含む)」、「近畿」、「北関東・甲信」が続いた(図3-6)。

また、高校学科別では、「静岡県内」の比率は農業系学科及び総合学科が(図3-7)、「東海(静岡県除く)」は普通科・理数科が(図3-8)、「南関東」の比率は商業科等が(図3-9)他と比べてやや高い傾向にあった。

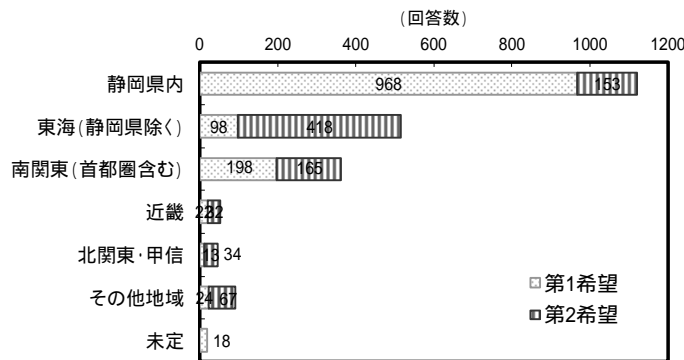


図3-6 希望する進路地域(順位をつけて2つ選択、n=1341)

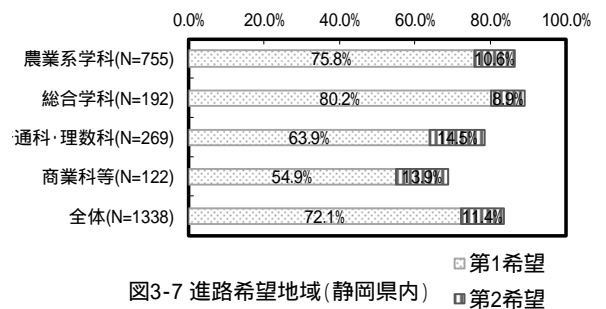


図3-7 進路希望地域(静岡県内)

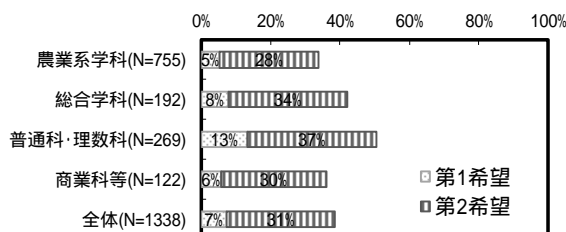


図3-8 進路希望地域(東海(静岡県除く))(高校学科別)

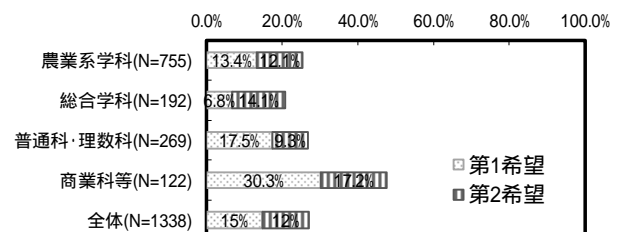


図3-9 進路希望地域(南関東)(高校学科別)

4 進学先選択時の重視事項と学びたい教育内容

(1) 進学先を選ぶ際に重視する点

進学先を選ぶ際に重視する点は、「学びたい学部・学科・コースがある」が特に多くなった。次に、「専門分野を深く学べる」、「自分の興味や可能性を広げられる」、「資格取得に有利である」が続いた(図4-1)。

高校学科別に見ると、「学びたい学部・学科・コースがある」の比率は、商業科等が他学科と比べてやや低く(図4-2)、「専門分野を深く学べる」の比率は総合学科がやや高い比率となった(図4-3)。さらに、「自分の興味や可能性を広げられる」及び「資格取得に有利である」は、高校学科毎の違いは見られなかった(図4-4、図4-5)。

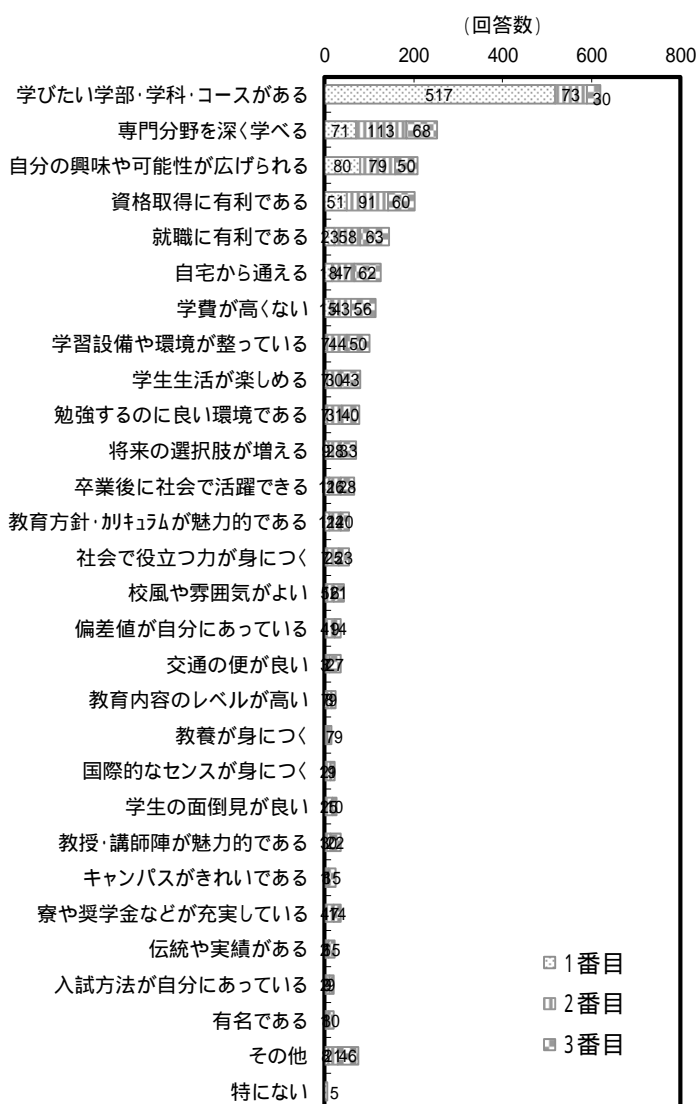


図4-1 進学先選択時の重視点(1~3位選択, n=883)

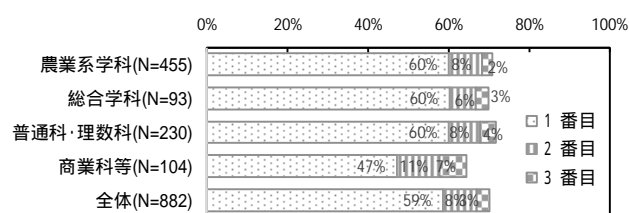


図4-2 進学先選択時の重視点(高校学科別)「学びたい学部・学科・コースがある」

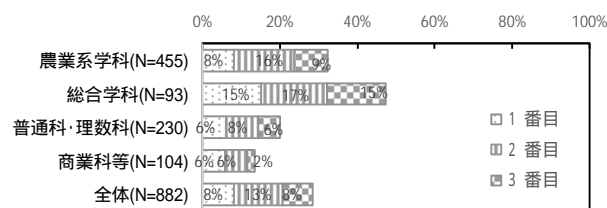


図4-3 進学先選択時の重視点(高校学科別)「専門分野を深く学べる」

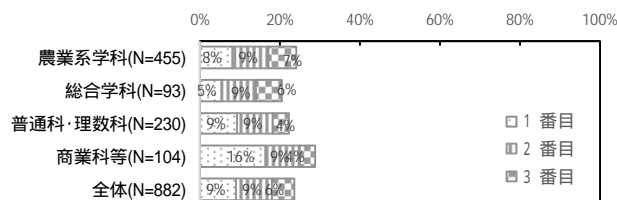


図4-4 進学先選択時の重視点(高校学科別)「自分の興味や可能性が広げられる」

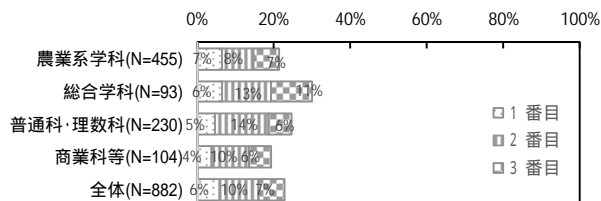


図4-5 進学先選択時の重視点(高校学科別)「資格取得に有利である」

(2) 学びたい学問分野

学びたい学問分野は、「調理・食品・栄養関係」、「農学関係」が特に多くなった(図4-6)。高校学科別にみると、「調理・食品・栄養関係」及び「農学関係」は、農業系学科及び総合学科が他学科に比べて比率が高くなった(図4-7、図4-8)。

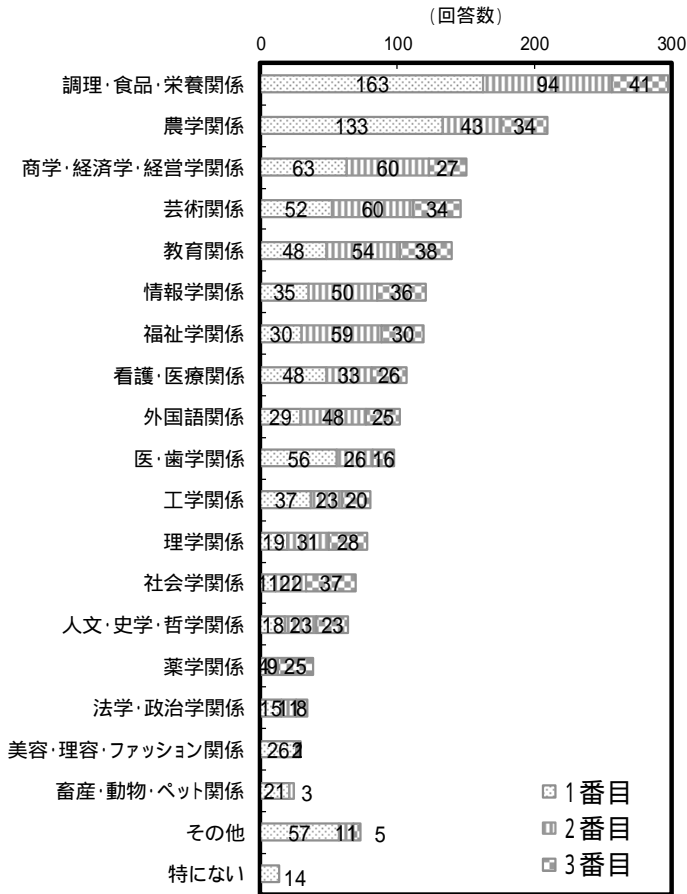


図4-6 学びたい学問分野(1~3位選択、n=879)

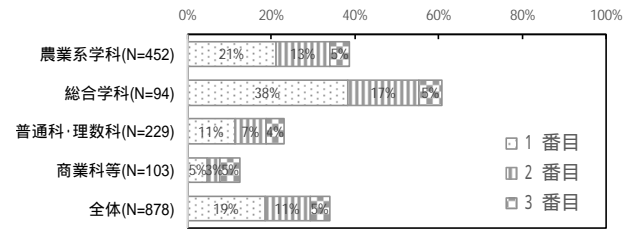


図4-7 学びたい学問分野「食品・栄養・調理関係」(高校学科別)

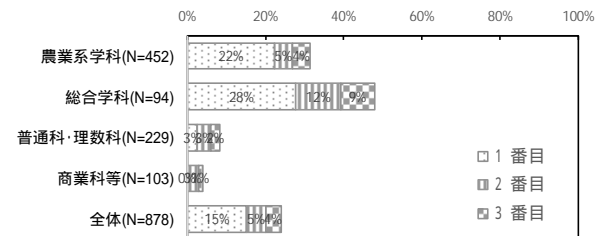


図4-8 学びたい学問分野「農学関係」(高校学科別)

(3) 農業分野で学びたい内容

農業分野で学びたい内容は、「日本食・食文化」、「食品加工技術」、「植物栽培の基礎技術」、「植物栽培の基礎知識」、「食品流通・販売・輸出」、「食品安全」の順に多くなった(図4-9)。

また、次の式でスコアを算出したところ、「食品加工技術」、「日本食・食文化」、「植物栽培の基礎知識」、「植物栽培の基礎技術」、「食品流通・販売・輸出」、「食品安全」の順にスコアが高くなった。

<スコア計算式>

$$\text{スコア} = (1 \text{ 番目の回答数} \times 3) + (2 \text{ 番目の回答数} \times 2) + (3 \text{ 番目の回答数} \times 1)$$

さらに、高校学科別にみると、「日本食・食文化」、「食品加工技術」、「食品流通・販売・輸出」は、総合学科が他の学科に比べて比率がやや高い傾向にあった(図4-10~4-15)。

表 4-1 農学分野で学びたい内容のスコア

学問分野	スコア
食品加工技術	431
日本食・食文化(地域の伝統食、和食など)	380
植物栽培の基礎知識	354
植物栽培の基礎技術	345
食品流通・販売・輸出	268
食品安全(GAP、HACCP、食品表示など)	241
家畜・家禽の繁殖・飼育・肥育の基礎技術	169
家畜・家禽の基礎知識	151
環境問題(温暖化、砂漠化、ごみ問題)	122
食料問題(自給率、食料危機)	105
農林業経営	84
スマート農業(ICT、IoT、自動化技術)	81
プロ農林家の技術	65
木材加工技術	60
農と福祉の連携(障害者・高齢者雇用など)	42
環境に配慮した農業(エコファーマー、有機農業)	30
農林業の成功事例	29
農山村振興(グリーン・ツーリズム、鳥獣害など)	19

スコア = (1 番目の回答数 × 3) + (2 番目の回答数 × 2) + (3 番目の回答数 × 1)

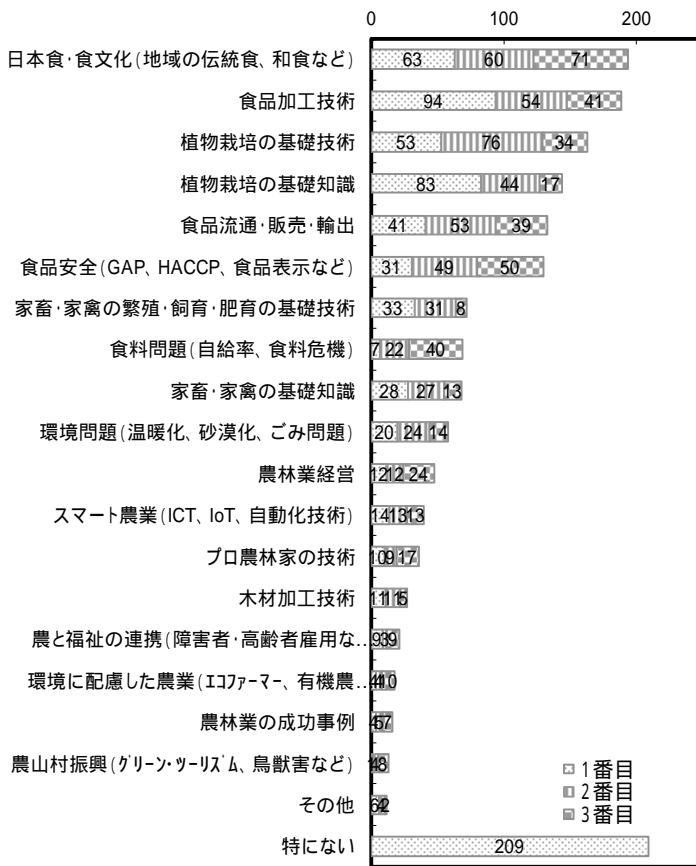


図4-9 農学分野で学びたい内容(1～3位選択、n=733)

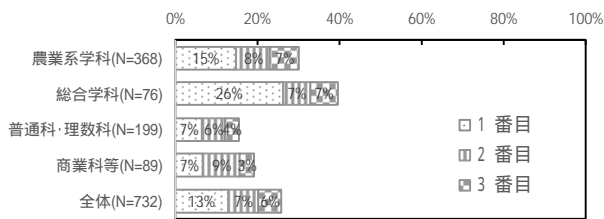


図4-10 学びたい農学分野(高校学科別)
「食品加工技術」

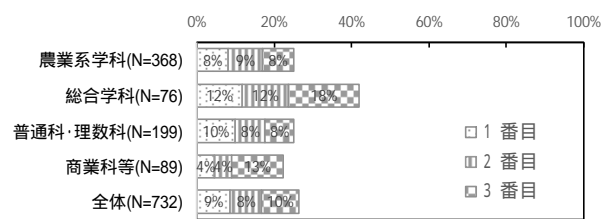


図4-11 学びたい農学分野(高校学科別)
「日本食・食文化」

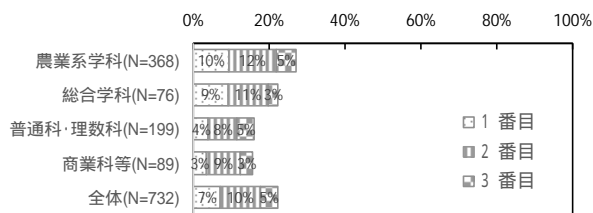


図4-12 学びたい農学分野(高校学科別)
「植物栽培の基礎技術」

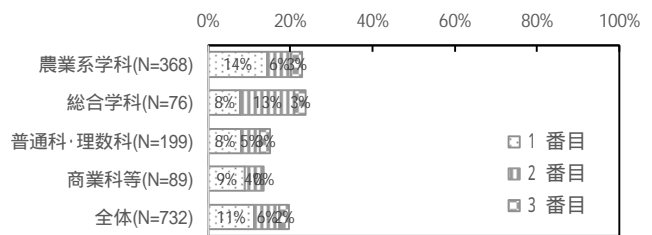


図4-13 学びたい農学分野(高校学科別)
「植物栽培の基礎知識」

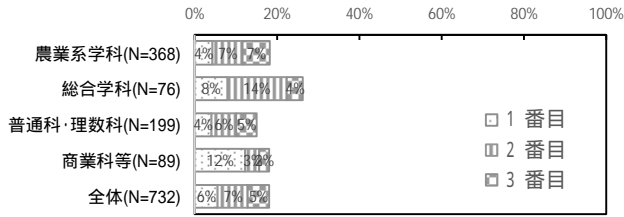


図4-14 学びたい農学分野(高校学科別)
「食品流通・販売・輸出」

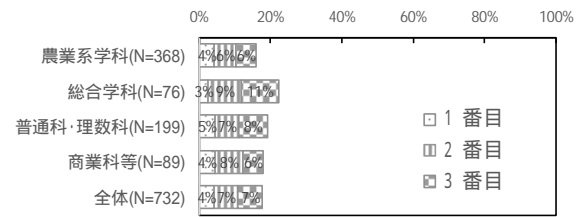


図4-15 学びたい農学分野(高校学科別)
「食品安全」

5 将来の職業意識

(1) 将来の希望職業

将来の希望職業についてみると、「自分で農林業を行う」は2.0%(22名)、「農林業を行っている法人や会社などに就職する」は3.3%(36名)、「農林業関係団体(農協、森林組合など)に就職する」は2.4%(26名)、「農林業関係企業(種苗、資材、木材加工会社など)に就職する」は1.0%(11名)、「農林技術系の公務員になる」は2.0%(22名)、「農林業と関係のない企業などに就職する」は44.9%(484名)、「まだわからない」は28.4%(306名)、「その他」は15.9%(172名)となった(図5-1)。

また、高校学科別に見ると、農業系学科及び総合学科は「農林業を行っている法人や会社などに就職する」の比率が他学科よりも高い傾向にあった。

全体として、農業関係の職業を希望する回答者は少ない傾向にあった。

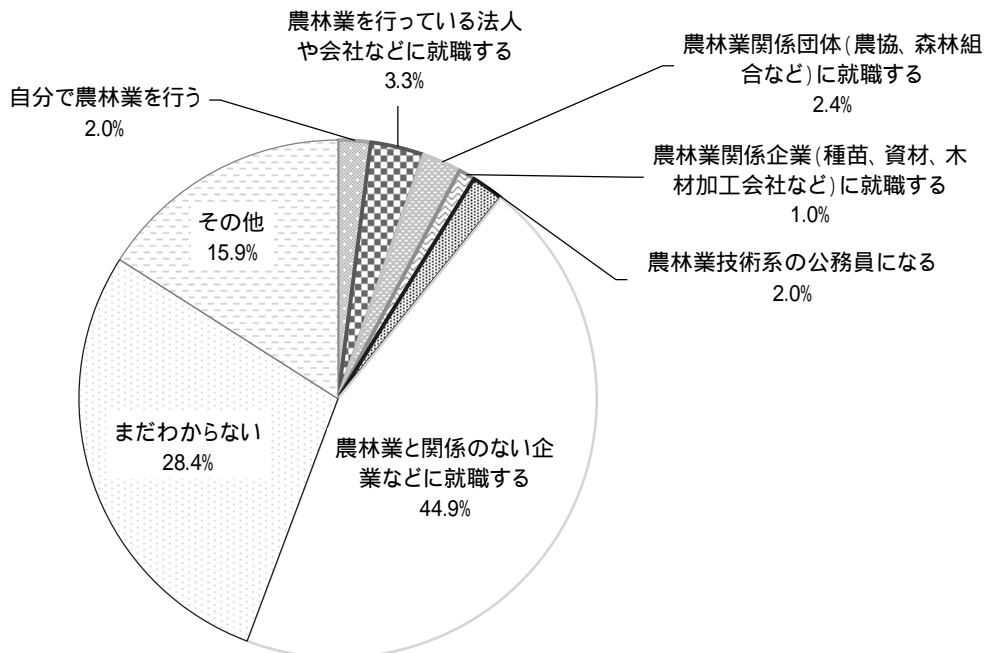


図5-1 将来の希望職業(n=1079)

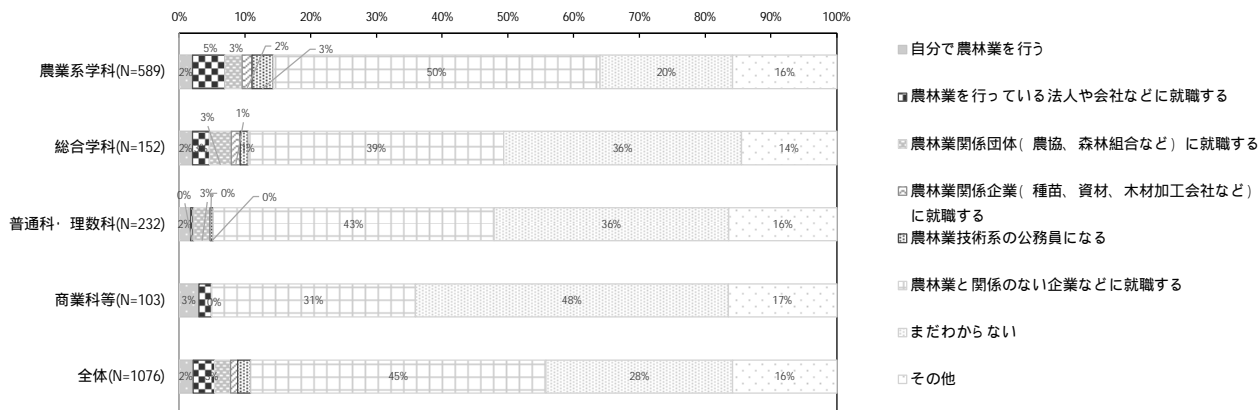


図5-2 将来就きたい職業 (高校学科別)

(2) 将来の地元志向

将来の地元志向をみると、「ぜひ地元で働きたい」が23.1% (259名)、「できれば地元で働きたい」が28.5% (318名)であり、両者を合わせると51.6%が地元での就業を希望していた。続けて、「どちらでもよい」が34.4% (386名)、「出来れば地元を離れて働きたい」が9.6% (108名)、「絶対に地元を離れて働きたい」が4.4% (49名)であった(図5-3)。

また、高校学科別にみると、比率に大きな違いは見られなかった(図5-4)。

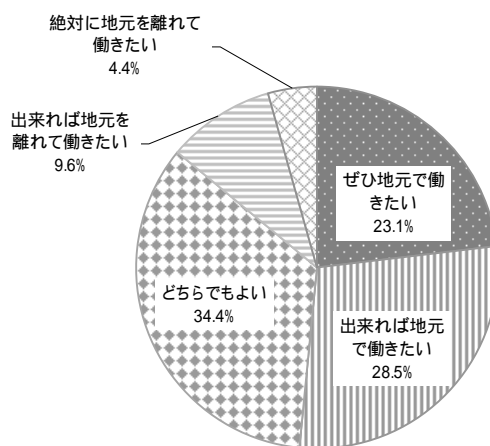


図5-3 将来の地元志向(n=1121)

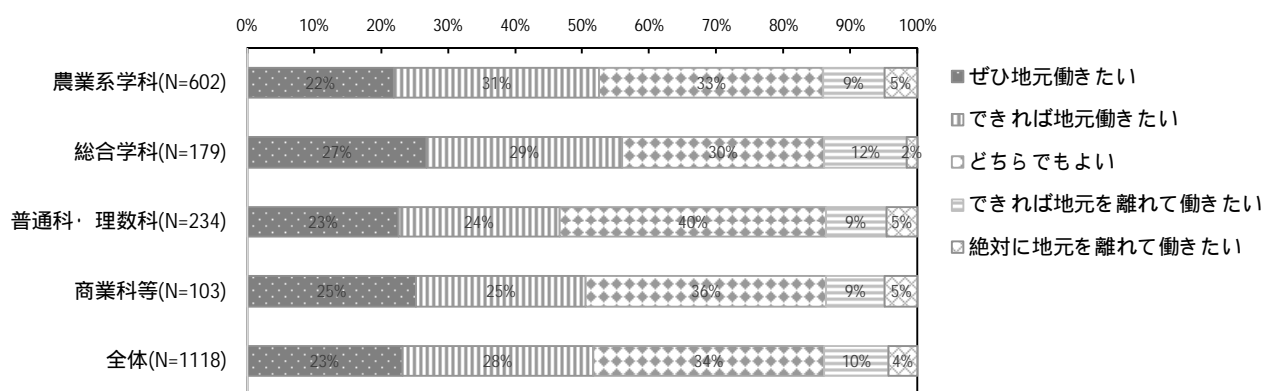


図5-4 将来の地元志向 (高校学科別)

(3) 職業としての農業のイメージ

職業としての農業のイメージは、「大変(厳しい、辛い、きつい、ハード含む)」が特に多くなった(図5-5)。また、高校学科別でも大きな違いは見られなかった(図5-6)。

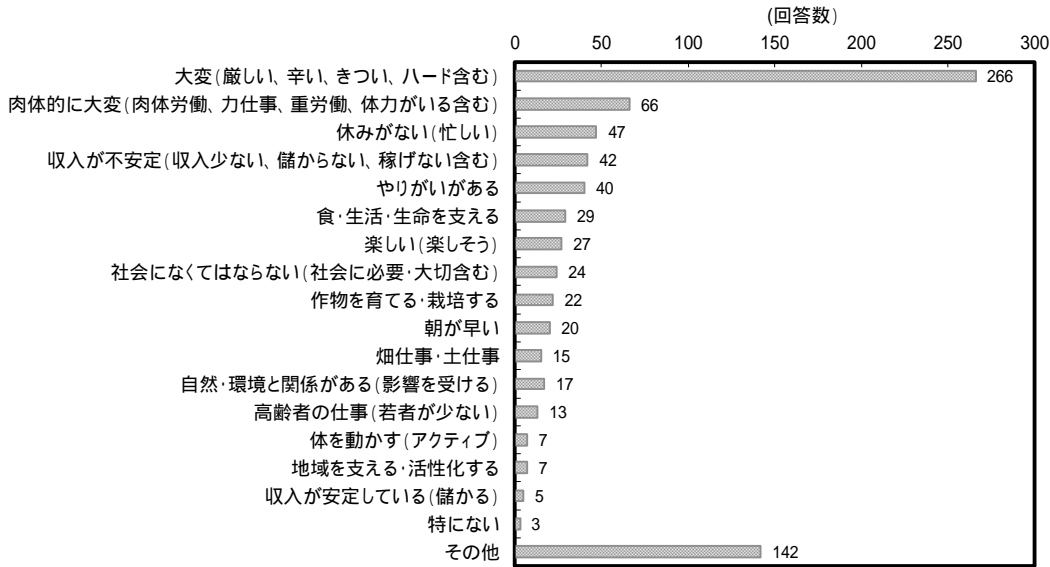


図5-5 職業としての農業のイメージ(複数回答、n=717)

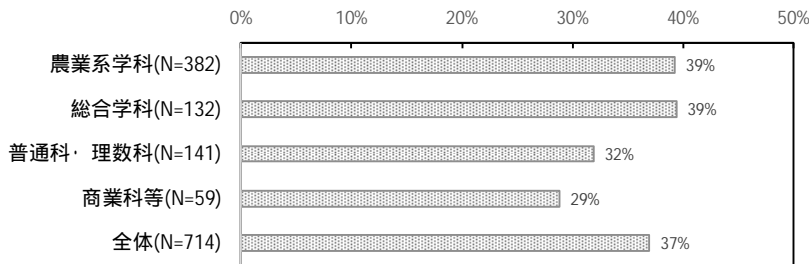


図5-6 農業に対するイメージ(高校学科別)

「大変(厳しい、つらい、きつい、ハード含む)」

6 農林大学校への進学希望と学びたい教育内容

(1) 農林大学校への進学希望

農林大学校への進学希望をみると、「第一希望の進学先」が7.2%(64名)、「希望進路先の一つ」が3.2%(29名)であり、両者を合わせた10.5%が農林大学校への進学を希望していた。一方、「希望進路先ではない」は83.9%(749名)、「わからない」は5.7%(51名)であり、8割以上が農林大学校への進学を希望していなかった(図6-1)。

さらに、高校学科別にみると、農業系学科及び総合学科で「第一希望の進学先」及び「希望進路先の一つ」が他学科よりもやや高い傾向にあった(図6-2)。

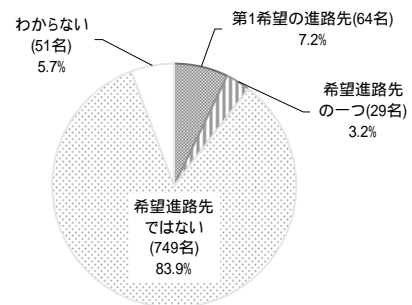


図6-1 農林大学校への進学希望(n=893)

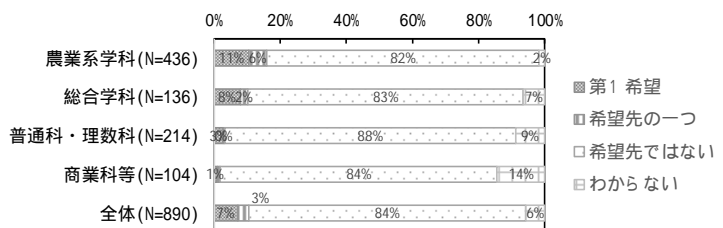


図6-2 農林大学校への進学希望(高校学科別)

(2) 農林大学校を進学先として検討した際に重視した点

農林大学校を進学先として検討した際に重視した点は、「農業分野で役立つ技術・技能が見につく」が圧倒的に多く、「学費が安い」、「設備や環境が整っている」、「就農（法人就農含む）に有利である」が続いた（図6-3）。

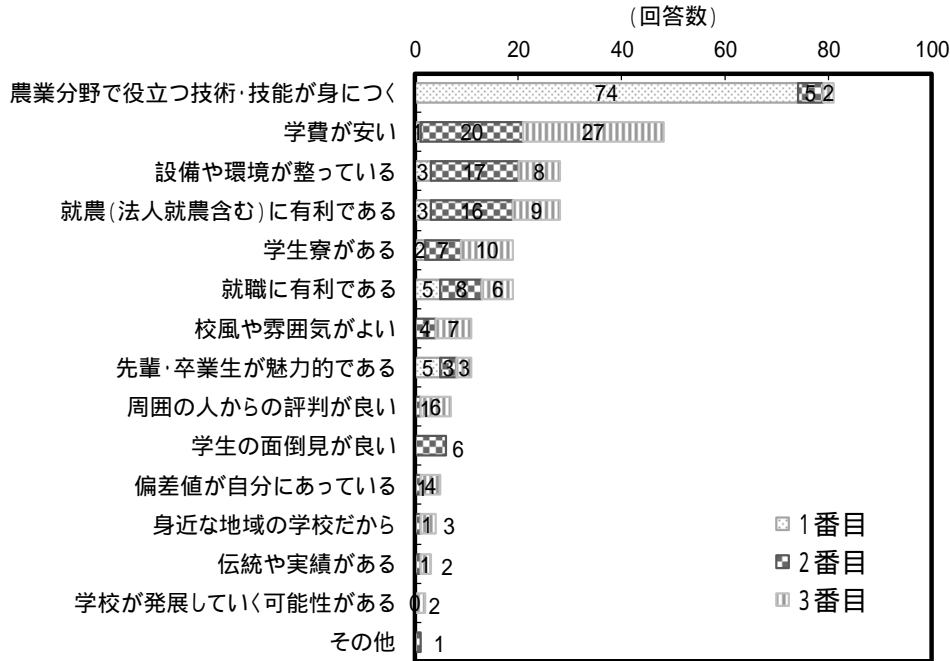


図6-3 農林大学校を進学先として選択した時の重視点(1～3位選択、n=93)

(3) 農林大学校で進学したい課程

農林大学校で学びたい課程は、「養成部のみ」が65%（54名）、「養成部と研究部」が14.5%（12名）、「まだ分からない」が20.5%（17名）であった（図6-4）。

「養成部のみ」を選択した理由をみると、「養成部を卒業すれば就職（就農）できるから」が53.7%（29名）で最も多く、「親に負担をかけたくない」が18.5%（10名）、「早く自立したい」が5.6%（3名）、「研究部で学びたいことがない」が3.7%（2名）、「勉強は2年で十分」が1.9%

（1名）、「特に理由はない」が14.8%（8名）、「その他」が1.9%（1名）となった（図6-5）。

次に、「養成部と研究部」を選択した理由を見ると、「さらに知識を深めたい」が66.7%（8名）、「希望するところへの就職のために必要だから」が16.7%（2名）、「そんなに早く社会へ出たくない」が8.3%（1名）、「特に理由はない」が8.3%（1名）となった。

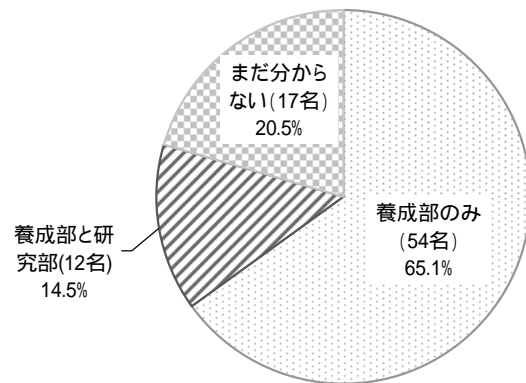


図6-4 農林大学校で進学したい課程(n=83)

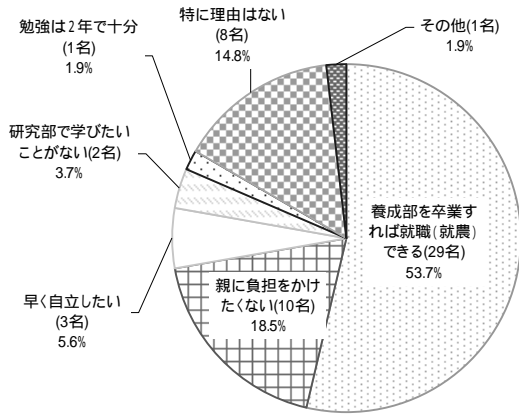


図6-5 養成部のみを選択した理由(n=54)

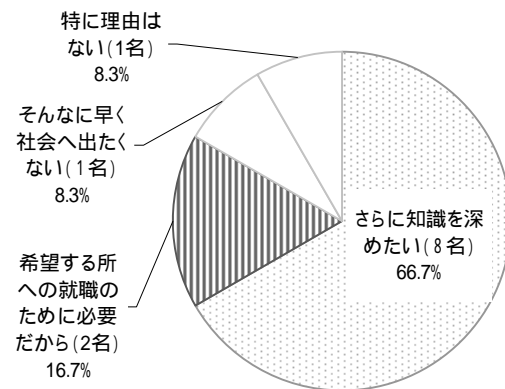


図6-6 養成部と研究部を選択した理由(n=14)

7 専門職大学制度の認知度

農林大学校の認知度を見ると、「知っていた」が 65.5% (652 名)、「知らなかった」が 34.5% (344 名) であり、知っている割合の方が高かった。

次に、新たな大学制度である「専門職大学」が創設されたことへの認知度をみると、「知っていた」が 13.3% (141 名)、「知らなかった」が 86.7% (921 名) であった。

最後に、農林大学校が専門職大学への移行を検討していることの認知度を見ると、「知っていた」が 10.8% (115 名)、「知らなかった」が 89.2% (952 名) と認知度は低かった。

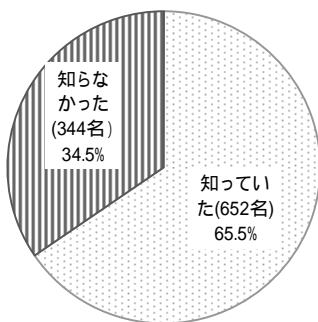


図7-1 農林大学校の認知度 (n=996)

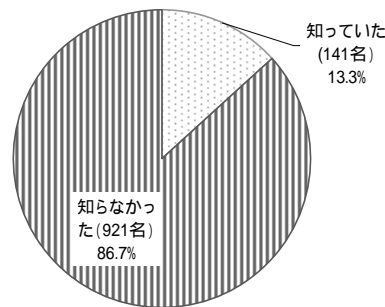


図7-2 専門職大学制度創設の認知度 (n=1062)

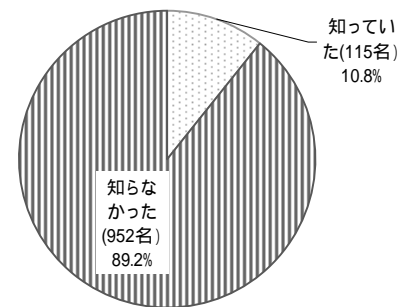


図7-3 農林大学校が専門職大学への移行を検討していることの認知度(n=1067)

8 まとめ

- ・ 回答者の性別は女性比率がやや高く、特に農業系学科及び総合学科では女性が6割程度であった。また、高校学科を問わず、非農家出身者が8割以上を占めていた。
- ・ 希望進路先は「専門学校・専修学校」、「就職」、「4年制大学」の順に多く、農業系学科及び総合学科では「就職」が、普通科・理数科及び商業科等では「4年制大学」の進路希望が多かった。
- ・ 進学先を選ぶ際の重視点は、「学びたい学部・学科・コースがある」の回答数が特に多かった。また、学びたい学問分野は「調理・食品・栄養関係」、「農学関係」が多く、農業

系学科及び総合学科では、特に比率が高い傾向にあった。

- ・ 農業で学びたい分野は、「食品加工技術」、「日本食・食文化」、「植物栽培の基礎知識」、「植物栽培の基礎技術」、「食品流通・販売・輸出」、「食品安全」、「家畜・家禽の繁殖・飼育・肥育の基礎技術」、「家畜・家禽の基礎知識」が多く、生産の基礎知識・技術に加え、食品に関する知識・技術が多かった。
- ・ 農林大学校への進学希望は1割程度であり、このうち養成部だけの進学希望は7割近くであった。また、農林大学校を選択する際の重視点は、「農業分野で役立つ技術・技能が身につく」、「学費が安い」であった。
- ・ 将来の職業意識では、就農や農林業関係企業などへの就職希望は1割強に止まった。高校生が農業へ抱くイメージには、「大変」、「肉体的に大変」、「休みがない」などマイナスイメージがあり、このことが影響していることも考えられる。
- ・ 以上から、より多くの学生を集めるためには、学生の学びたい学問内容（食品加工、生産に必要な技術）を提供する必要がある。
- ・ 農林大学校を選択する際に学費の安さは重要な要素になっており、学費の変更は十分な検討が必要である。

高校生の進学意識に関するアンケート調査

- 回答の記入上のお願い -

- ・ 回答は、あてはまる選択肢の番号に を付けてください。また、別に回答欄があるものについては、番号または字句を記入してください。
- ・ なお、あらかじめ添付のリーフレットを見てから回答してください。

調査実施機関 静岡県経済産業部農業局農業ビジネス課担い手育成班

(問合せ先) 担当：竹内、菊池、工藤 TEL . 054-221-2754 FAX . 054-221-3688

ご自身のことについて伺います。(該当する項目に、() 内に記入)

学校名	() 高等学校				
学年	1 . 1年生	2 . 2年生	3 . 3年生		
課程	1 . 全日制	2 . 定時制	3 . 通信制		
学科	1 . 普通科(文系、理系) 2 . 理数科 3 . 商業科 4 . ICT科 5 . 農業系学科 (生産系、園芸系、食品系、環境系、森林系、動物系、ライフ系、 その他()) 6 . 総合学科 (農業科学系列、園芸科学系列、花と緑系列、生物生命系列、 食品園芸系列、食品科学系列、その他()) 7 . 国際科 8 . その他()				
性別	1 . 男性	2 . 女性			
出身	1 . 農家	2 . 非農家	3 . 祖父母農家		
居住地	1 . 下田市 2 . 東伊豆町 3 . 河津町 4 . 南伊豆町 5 . 松崎町 6 . 西伊豆町 7 . 沼津市 8 . 熱海市 9 . 三島市 10 . 富士宮市 11 . 伊東市 12 . 富士市 13 . 御殿場市 14 . 裾野市 15 . 伊豆市 16 . 伊豆の国市 17 . 函南町 18 . 清水町 19 . 長泉町 20 . 小山町 21 . 静岡市 22 . 島田市 23 . 焼津市 24 . 藤枝市 25 . 牧之原市 26 . 吉田町 27 . 川根本町 28 . 菊川市 29 . 御前崎市 30 . 掛川市 31 . 森町 32 . 袋井市 33 . 磐田市 34 . 浜松市 35 . 湖西市 36 . 県外()				

高校卒業後の進路や学びたい学問分野について、お伺いします。

問1 希望する進路先について、順位をつけて2つまで選び回答欄へ番号を記入してください。

1 . 四年制大学	2 . 短期大学	3 . 専門学校・専修学校
4 . 就職	5 . 未定	6 . その他()
<回答欄>	第1希望	第2希望

問2 希望する進路地域について、順位をつけて2つまで選び回答欄へ番号を記入してください。

1 . 静岡県内	2 . 北海道	3 . 東北	4 . 南関東(首都圏)
5 . 北関東・甲信	6 . 北陸	7 . 東海(静岡県除く)	8 . 近畿
9 . 中国	10 . 四国	11 . 九州	12 . 未定
13 . 海外	14 . その他()		
<回答欄>	第1希望	第2希望	

進学希望がある方 問3へ

それ以外の方 問6へ

<進学希望者に伺います>

問3 進学先を選ぶ際、重視する点について、順番をつけて3つまで選び回答欄へ番号を記入してください。

1. 学びたい学部・学科・コースがある	20. 勉強するのに良い環境である		
2. 自分の興味や可能性が広げられる	21. 交通の便が良い		
3. 資格取得に有利である	22. 遊びに行くのに便利な立地である		
4. 専門分野を深く学べる	23. 偏差値が自分にあっている		
5. 教育方針・カリキュラムが魅力的である	24. 学費が高くない		
6. 社会で役立つ力が身につく	25. 入試方法が自分にあっている		
7. 教育内容のレベルが高い	26. 就職に有利である		
8. 教養が身につく	27. 将来の選択肢が増える		
9. 国際的なセンスが身につく	28. 卒業後に社会で活躍できる		
10. 学生の学力が高い	29. 校風や雰囲気が良い		
11. 学生の面倒見が良い	30. 伝統や実績がある		
12. 教授・講師陣が魅力的である	31. 有名である		
13. 先輩・卒業生が魅力的である	32. 活気がある感じがする		
14. 学習設備や環境が整っている	33. 周囲の人からの評判が良い		
15. 学生生活が楽しめる	34. 学校が発展していく可能性がある		
16. キャンパスがきれいである	35. 規模が大きい		
17. クラブ・サークル活動が盛んである	36. 望む学位がとれる		
18. 寮や奨学金などが充実している	37. 特にない		
19. 自宅から通える	38. その他()		
<回答欄>	1 番目	2 番目	3 番目

問4 学びたい学問分野について、順番をつけて3つまで選び、番号を回答欄へ記入してください。

1. 農学関係	10. 情報学関係		
2. 調理・食品関係	11. 教育関係		
3. 人文・史学・哲学関係	12. 芸術関係		
4. 外国語関係	13. 医・歯学関係		
5. 法学・政治学関係	14. 薬学関係		
6. 商学・経済学・経営学関係	15. 看護関係		
7. 社会学関係	16. 福祉学関係		
8. 理学関係	17. 特にない		
9. 工学関係	18. その他()		
<回答欄>	1 番目	2 番目	3 番目

問5 農業分野で学びたい項目があれば、順番をつけて3つまで選び、番号を回答欄へ記入してください。

1. 植物栽培の基礎知識	11. 食品安全 (GAP、HACCP、食品表示など)		
2. 植物栽培の基礎技術	12. 日本食・食文化 (地域の伝統食、和食など)		
3. 家畜・家禽の基礎知識	13. 農山村振興 (グリーン・ツーリズム、鳥獣害など)		
4. 家畜・家禽の繁殖・飼育・肥育の基礎技術	14. 農と福祉の連携 (障害者・高齢者雇用など)		
5. プロ農林家の技術	15. 環境に配慮した農業 (エコファーム、有機農業)		
6. スマート農業 (ICT、IoT、自動化技術)	16. 環境問題 (温暖化、砂漠化、ごみ問題)		
7. 農林業経営	17. 食料問題 (自給率、食料危機)		
8. 食品加工技術	18. 農林業の成功事例		
9. 木材加工技術	19. 特になし		
10. 食品流通・販売・輸出	20. その他 ()		
<回答欄>	1 番目	2 番目	3 番目

職業意識について、伺います。

問6 将来、どのような職業に就きたいですか。(1つ)

1. 自分で農林業を行う	2. 農林業を行っている法人や会社などに就職する
3. 農林業関係団体 (農協、森林組合など) に就職する	4. 農林業関係企業 (種苗、資材、木材加工会社など) に就職する
5. 農林業技術系の公務員になる	6. 農林業と関係のない企業などに就職する
7. まだわからない	8. その他 ()

問7 将来、地元で働きたいですか。(1つに)

1. ぜひ地元で働きたい	2. 出来れば地元で働きたい	3. どちらでもよい
4. 出来れば地元を離れて働きたい	5. 絶対に地元を離れて働きたい	

問8 あなたは、職業としての農業にどのようなイメージを持っていますか。(自由記入)

(記入例: クリエイティブな仕事 など)

静岡県立農林大学校への進学希望について、お伺いします。

問9 農林大学校は、希望進路先ですか?(1つに)

1. 第1希望の進路先	問10へ	2. 希望進路先の一つ	問10へ
3. 希望進路先ではない	問14へ	4. わからない	問14へ

<農林大学校が進学先の方に伺います>

問10 農林大学校を進学先として検討した際、重視した点について順番をつけて3つまで選び回答欄へ番号を記入してください。

1. 農業分野で役立つ技術・技能が身につく	9. 偏差値が自分にあっている		
2. 学生の面倒見が良い	10. 校風や雰囲気がよい		
3. 先輩・卒業生が魅力的である	11. 伝統や実績がある		
4. 就農 (法人就農含む) に有利である	12. 学校が発展していく可能性がある		
5. 就職に有利である	13. 周囲の人からの評判が良い		
6. 設備や環境が整っている	14. 身近な地域の学校だから		
7. 学生寮がある	15. その他 ()		
8. 学費が安い			
<回答欄>	1 番目	2 番目	3 番目

問 11 農林大学校で進学したい課程について、お答えください。(1つに)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 養成部のみ(2年間の課程) | <u>問 12 へ</u> |
| 2. 養成部と研究部(合計4年間の課程) | <u>問 13 へ</u> |
| 3. まだ分からない | <u>問 14 へ</u> |

<養成部のみに進学と答えた方にお聞きします>

問 12 「養成部のみ」を選択した理由について、お答えください。(1つに)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 養成部を卒業すれば就職(就農)できる | 2. 勉強は2年で十分 |
| 3. 研究部で学びたいことがない | 4. 親に負担をかけたくない |
| 5. 早く自立したい | 6. 特に理由はない |
| 7. その他() | |

問 14 へ

<養成部と研究部と答えた方にお聞きします>

問 13 「養成部と研究部」を選択した理由について、お答えください。(1つに)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 希望する所への就職のために必要だから | 2. さらに知識を深めたい |
| 3. そんなに早く社会へ出たくない | 4. 特に理由はない |
| 5. その他() | |

問 14 へ

問 14 あなたは、農林大学校を知っていましたか。(1つに)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

専門職大学の制度について、伺います。

問 15 あなたは、新たな教育制度「専門職大学(専門職短期大学)」が創設されたことを知っていましたか。(1つに)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 16 静岡県では、農林大学校を専門職大学へ移行することを検討しています。このことを知っていましたか。(1つに)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

~ご協力をありがとうございました~

専門職大学（農林業）基本構想の概要

主な大学設置の意義

- 1 将来の農林業現場を支える人材の養成
個々の農林業経営体の規模が拡大し、応用可能な技術革新が進展してきたことから、基礎的な生産能力に加えて、加工・流通・販売の知識や経営管理能力、健康を志向した品質の向上やコストの低減など生産性を高める先端技術への対応能力を持ち、経営改革を主導できる人材が求められている
- 2 農山村の景観・環境・文化を支える人材の養成
農山村地域では、近年高齢化や人口減少に伴い活力が低下しており、農林業者が経営を行う上で、自然と共生しながら農山村の景観や環境を保全していくとともに、地域の文化や伝統を守り育み、地域社会を支えていくことが求められている
- 3 国内外からの人材の受け入れ
年齢国籍、性別を問わず、農林業を志す人材に、質の高い実践的教育を提供することで、本県農林業の発展とともに、国際社会に貢献する人材を数多く養成することができる

基本的な理念

- 農林業経営に革新を起こす人材の養成
 - ① 生産の基礎から応用までの知識・技術を持ち、生産のスペシャリストとして、生産現場の中心となる人材の養成
 - ② 基礎的な生産能力に加え、経営体の経営革新を推進する、加工・流通・販売の知識や経営管理能力、先端技術への対応能力を有した人材の養成
- 地域社会における将来のリーダーとして、自然と共生し、美しい農山村の景観や環境を磨き上げるとともに、幅広い教養と豊かな人間性を備え地域の文化や伝統を守り育むことのできる農林業者の養成
- 世界に開かれた大学として、農林業の人材養成を通じて産業の発展や社会の活性化に寄与する教育研究拠点の形成
- ◇ 農林大学校では「耕土耕心」の校訓の下、本県農林業発展に貢献する、現場で活躍する人材を数多く輩出してきたことから、引き続きこの理念を尊重した上で、年齢国籍を問わず、将来の経営環境の変化に対応し、農林業者として先端技術などを活用して経営革新を推し進め、さらには農山村の美しい景観や環境、文化の継承者として、地域社会を中心となって支えていく人材を養成する

大学の概要

名称：静岡県立 農林環境専門職大学（仮称）

4年制 生産環境経営学部 生産環境経営学科（仮称）
（収容定員 100名程度、1学年 24名程度）

2年制 短期大学部 生産科学科（仮称）
（収容定員 200名、1学年 100名程度）

開学時期：平成32年4月目標

教育目標

（養成人材）

- 先端技術への対応力と高度な経営管理能力を養い、「農林業経営体の経営を継ぐ」「農林業経営体の中核を担う」、「自ら新しい経営体を立ち上げる」など、それぞれの立場で自らの夢を実現し、農林業分野で活躍できる人材を養成する
- 農林業の実践的な技術や知識と、生産物の価値を高める創造力を養い、農林業経営の現場で生まれる新しい課題に柔軟に対応できる人材を養成する
- 農山村の景観形成の礎となる農業農村工学の実践的知識を養い、景観・環境や地域の文化を守り、自然と共生していくことのできる人材を養成する
- 幅広い教養とコミュニケーション能力

教育課程

総合科目	外部専門家による実践的講義、フードシステムの視点での生産から販売までの現場経験や、農山村で自然と共生し経営を実践する農林業者の下での経営研修など経験を重視した課題発見・解決型のプロジェクト実習を充実し、習得した知識・技術を現場で活用する実践力や判断力を養う。	設ける
専修科目	農林業界および地域社会のニーズを反映した教育課程を編成・実施するため、県内農林業者や農林業団体、高校関係者、地元市町、県などを構成員とした教育課程連絡協議会を設け、その意見を踏まえた教育課程の編成・実施・評価を行う。	
選修科目	農林業界および地域社会のニーズを反映した教育課程を編成・実施するため、県内農林業者や農林業団体、高校関係者、地元市町、県などを構成員とした教育課程連絡協議会を設け、その意見を踏まえた教育課程の編成・実施・評価を行う。	

教員組織

- 原則主要科目等は専任教員（教授・准教授等）が担当
- 実務家教員として農林業経営者や行政機関専門家活用
- 国内外で活躍する識者を非常勤講師として招聘 等

入学者選抜

- 一般入試を基本とし、推薦（公募、指定校、地域内）、編入学、社会人入学、留学生受入れ特別入試など多彩な方法を設定

施設整備

- 設置場所：現行農林大学校敷地内（磐田市）
- 校舎設備：設置基準に依り教育課程の実現に必要な施設を整備する